

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年 5月 7日

事業所名 りんくる我如古

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			・活動部屋、学習部屋、があり用途によって使い分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	6	2			・基本有資格者であり、基準以上の人員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	4	・事業所が2階にある為、バリアフリー化が難しいところがある。	・賃貸ともあり改装も難しい状況。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1		・多忙な時期でも、振り返りを行えるスケジュールリングを検討する。	・長期の休み等の際や、朝から利用児童がいる場合は振り返りが行えない場合があるが、多忙な中でも、取り急ぎ周知しないといけない物に関してはLINE等を活用し周知している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			・昨年の津波警報があった際に細やかな迅速な対応が必要だと感じ、連絡手段、内容について検討した。	・津波警報の際には、公式LINEを活用し保護者様へ避難状況を周知出来るように行っていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		・毎年、自己評価の結果をホームページに公開している。	・ホームページ内の事業所案内ページに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4	1	・必要に応じて行っていく	・必要な際には検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			・新人研修には参加出来たが、その他の研修はタイミングが合わず。研修の時間を作っていきたい。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1		・支援が偏らないように職員全員で課題を検討している。	・児童本人の課題を見直し、保護者様のニーズも取り入れながら課題を検討している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	1	・個々の状況が違うので必要なアセスメント内容で個別に対応している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			・活動ごとのチームがあり、ミーティングで話し合い決定している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			・定期的なアセスメントをもとに長期目標を設定し、優先順位をつけて個別支援計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1		・打ち合わせの時間が少ししかとれないこともあったので、今年は時間を確保したい。	・毎日ミーティングの時間は設けているが、十分な役割分担についての時間の確保を行ない、より良い支援が出来るように検討する。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3		・取り急ぎの共有しないといけ ないことはLINEで共有してい る。振り返り等は翌日のミーテ ィングを設け行っている。 ・翌日のミーティングで話し合っ ているが、長期の休みなどの時 はすぐに出来ていない時もある。	・支援終了後は取り急ぎ共有す ることを周知し、翌日のミーテ ィングにて振り返りや気付いた点を 共有している。 ・長期の休みの際のミーテ ィングの時間の確保を検討していきた い。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			・個別会議を行い、内容を計 画書に盛り込んでいる。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1			・児童発達支援管理責任者が会 議に出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1		・スクリーンなど情報を頂いて はいるが、先生一人ひとりと 密なやり取りを行う手段につ いて検討したい。	・下校時間の確認は学校へ連絡 し確認をしている。各学校の情報 ツールを活用し、トラブル発生時 には送迎時に行っているが、必 要があれば学校、ご家族様含め た会議を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6		2	・現在、該当する児童がいな い。	・現在対象の児童はいないが、 対象児童がいれば連絡体制は 整えていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	3		・計画相談員さんを介して、 情報共有している。	・契約前の担当者会議で引継ぎ をしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	1			・事例がないが、今後対象児童 がいれば、対応していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1			・積極的に研修会に参加し、助 言をもらう機会を増やしていきた い。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	1		・長期のお休みを利用し、地 域の児童館を利用し交流し ている。	・長期のお休みの際に児童館の 利用をしており、地域の公園等 でも関われる機会を設けたい。 ・他事業所との交流を設けてい る。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7		1	・児童発達支援管理責任者 が協議に参加してくれていま す。	・市町村の連絡会に積極的に参 加していくようにしたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			・LINEやりんくるノートを活用 し、保護者様と共有してい る。必要に応じて送迎時や 電話で直接伝えるようにして いる。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	2		保護者様向けの研修がある 場合には案内している。	今後も研修案内を積極的に行っ ていきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			・契約時に運営規程、重要 事項説明書により支援内容 や利用者負担額について、 児童発達支援管理責任者より 説明しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			・子育ての悩み等がある保護者様に対して、お電話や事業所に来て貰い悩みを聞いている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8			・保護者会を開催し、保護者様同士相談したり出来る場を作っている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			・毎月予定表を配布しており、連絡事項は電話等にて行なっている。	・活動の様子等はホームページのブログに載せています。
	35	個人情報に十分注意している	8			・個人情報保護法に基づき、取り扱いには十分注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	1			・発表会を開催しており、個人情報に気にする保護者様もいる為、地域住民を招待することは難しい状況にある。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8				・契約時、モニタリングの際に保護者様向け説明を行なっている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			・定期的に行っている。	・契約時、モニタリングの際に保護者様向け説明を行なっている。避難訓練を半年に1回訓練を行なっている。 ・津波警報の際には、事前に保護者様向け連絡が出来ていなかった為、
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1		・身体拘束に該当する児童はいないが、いる場合にはしっかりと記載し、説明と同意を得ていく。	・事例はないが、今後対象児童がいれば、対応していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		1		・医師からの指示書に基づく対応が出来るように職員に周知している。訓練用の器具を使用し職員間で訓練しているが、訓練頻度を増やしていきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1		・他事業所含め、職員間で共有し、今後の対策を話し合っている。	・ヒヤリハットを作成し、その都度、職員間で回覧、サインを頂いている。理解して貰えるように周知の方法を検討する。